

特徵

計測機器 IMS/GRP5000 システム



鉄道施設

現

在

の

用途

機器の概要

3Dレーザースキャナを搭載した測定器により、軌道上を 走行しながら連続した3D点群データを取得することが可 能です。

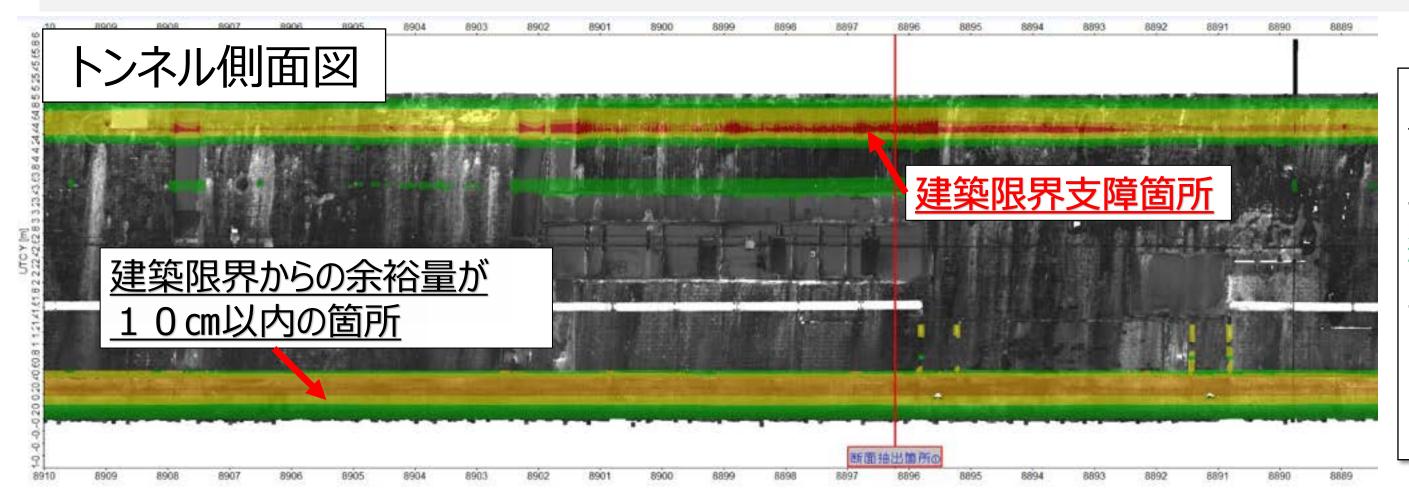
取得した3D点群データにX,Y,Z座標を持たせることで、 軌道中心を基準に各構造物(トンネル、ホーム、上屋、 信号機等の各種線路設備)までの最短距離を算出する ことができ、建築限界支障箇所や支障量を計測中にリア ルタイムで確認することができます。

これまで手計測で行っていたことを本計測に置き換えることで、マンパワーの削減、作業効率化を図ることができます。





①トンネルやホーム・上屋等の建築限界測定、断面図の作成

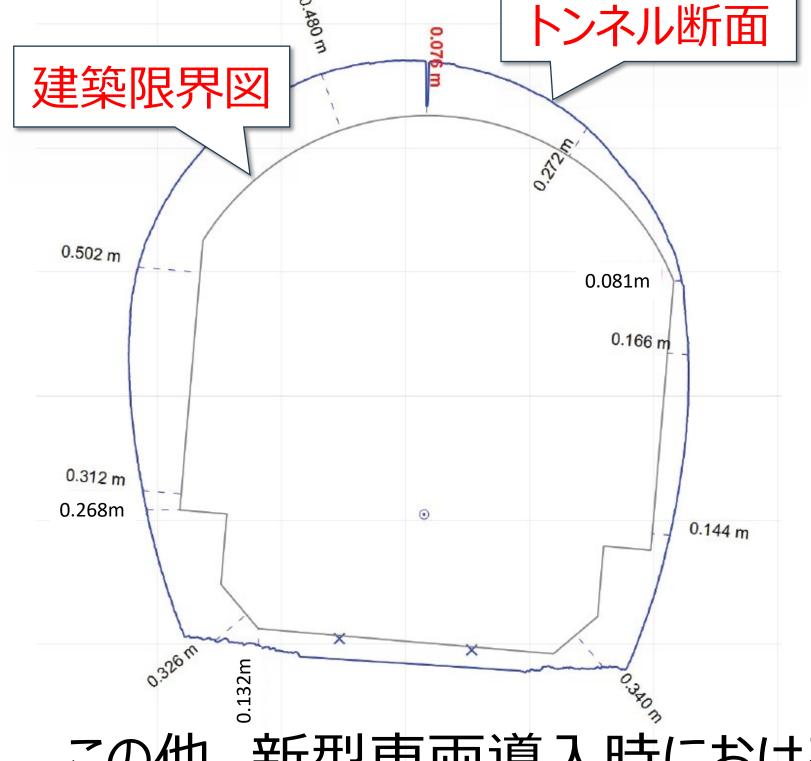


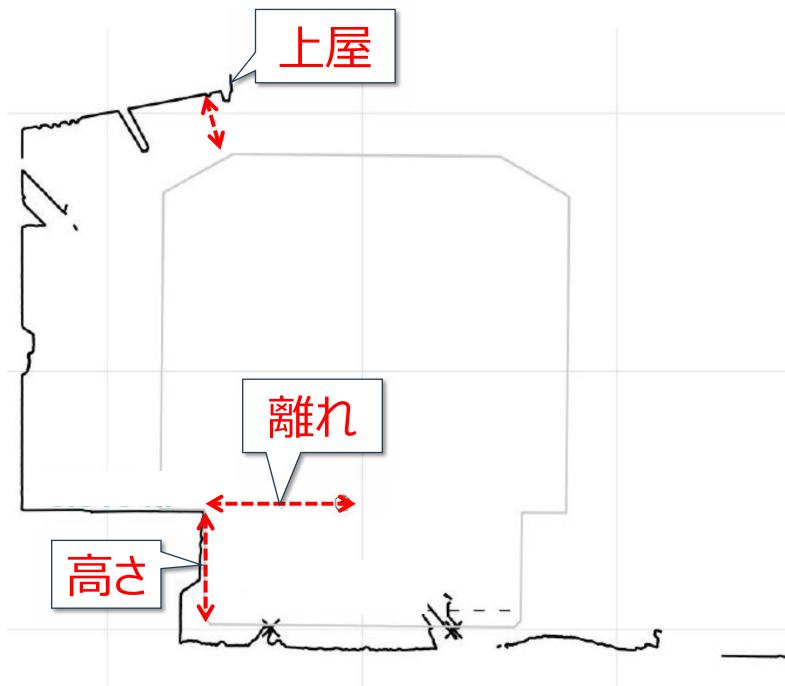
建築限界を支障すると赤、 10cm以内ならば黄、 それ以上の余裕量ならば 緑、といったように任意で コンター図を作成できる

建築限界を支障しているか一目で確認できる

建築限界余裕量の表示(トンネル)

ホームの高さ・離れや上屋までの 距離(建築限界余裕量)を算出





この他、新型車両導入時における建築限界測定でも利用可能

お問い合わせ

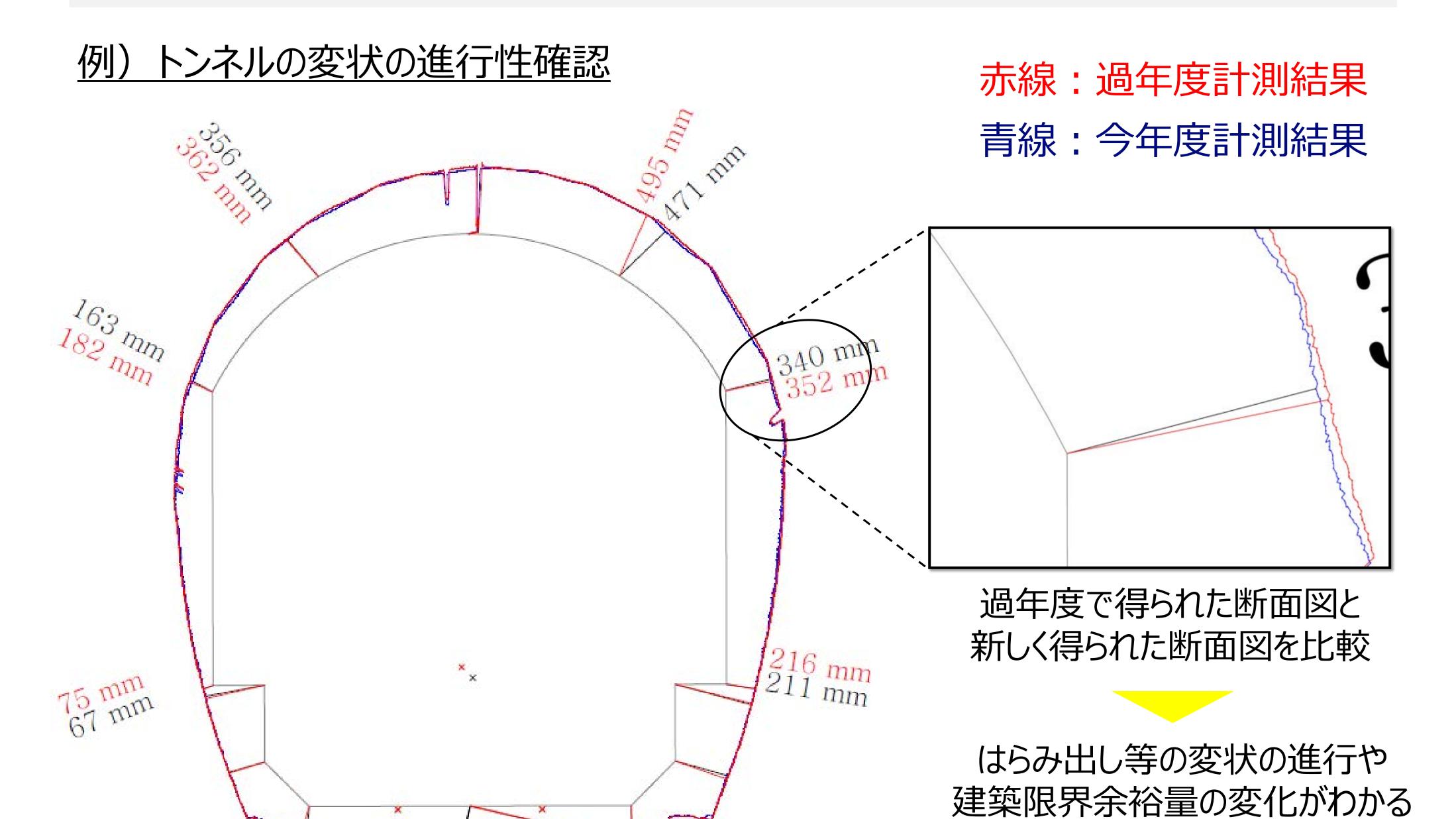






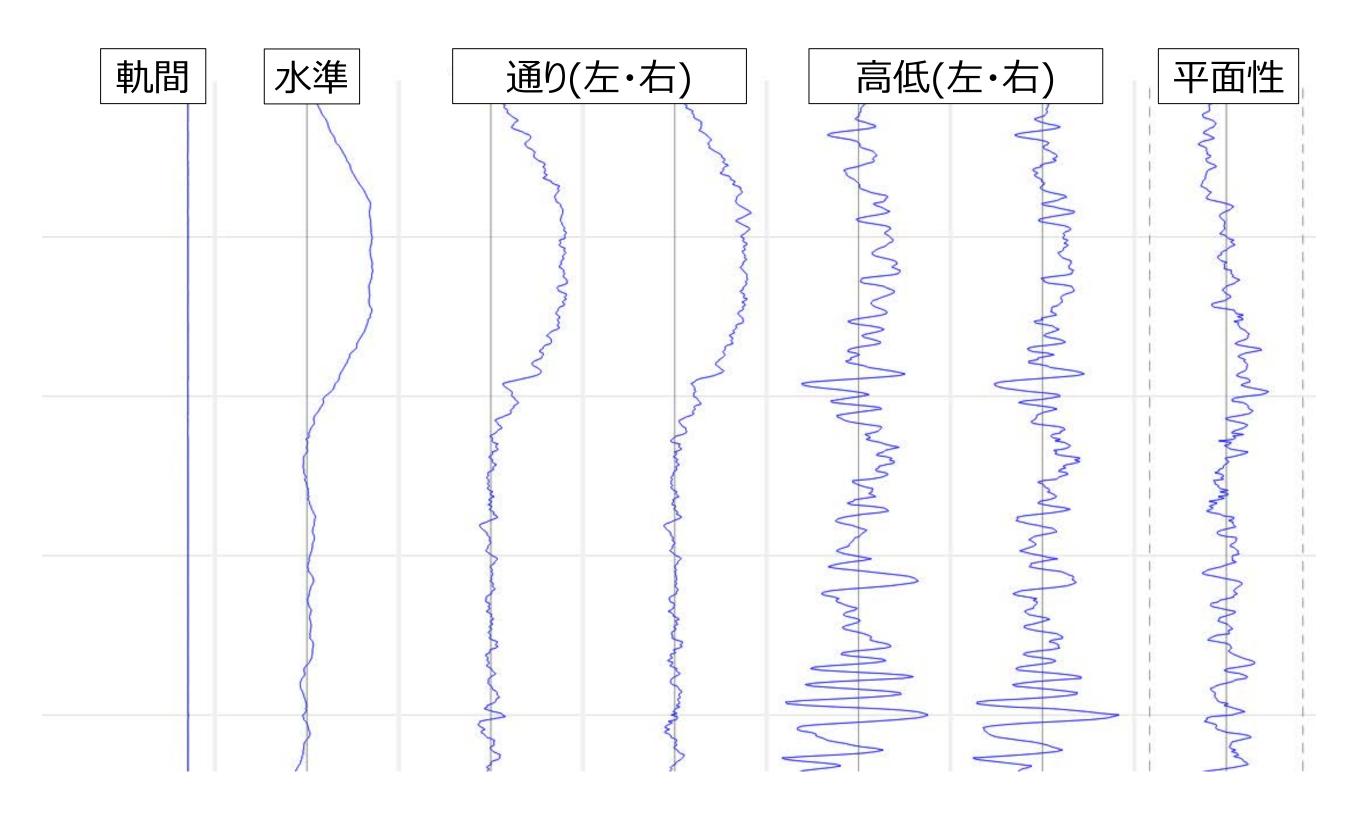
用途

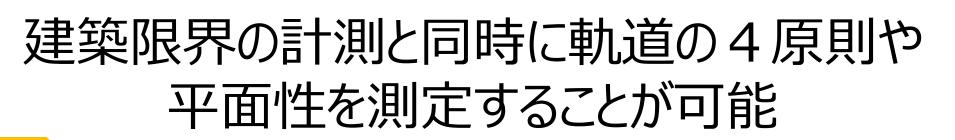
②ホームやトンネル等の変状について、進行性の確認が可能



この他、ホーム床面のコンター図を比較することで、ホームの沈み込み等を確認可能

③軌道4原則の計測







測定精度

軌間:±0.3mm 水準:±0.5mm 通り・高低(10m弦):±0.3mm

お問い合わせ



株式会社シーエス・インスペクター 技術部 〒556-0011 大阪市浪速区難波中二丁目7番2号 TEL/FAX 06-6644-7210



